

「アローレはちきた FC リーグ最終戦中止の経緯について」

この度は、試合中止に際し、関係する多くの方々にご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。

試合中止の経緯と致しましては、本来であれば本試合は 10 月中に組まれる予定でしたが、相手チームの事情により、試合日程が決められず、東京都社会人サッカー連盟（以下、連盟）の最終通告により 11/29 開催で決定しました。しかし、11/28（土）夕方に FC 品川より選手が 7 人揃わないため不戦敗にしたいとの連絡を受けました。

連盟の規定により不戦勝は 5-0 扱いとなります。その場合、最終戦 7 点差勝利が必要だった我々は、優勝に手が届かないこととなります。この試合の取り扱いについては、現在連盟にて協議中です。

今回、このような声明を出させていただいたのは、相手チームや連盟を批判するためでは決してありません。東京都リーグの現状を広く知っていただき、本当に現在のリーグ体制で良いのか議論していただきたいためです。そして、今後我々のような想いをするチームを出して欲しくない一心です。

当クラブの最大の疑問点は「不戦敗の扱い」についてです。点数以外の罰則がないため、安易な不戦敗が起これるというのが現状です。また、実力差の大きい東京都 2 部リーグにおいて 5-0 という処置は適当なのでしょうか？

また、下部リーグとはいえ、勝ち進めば J リーグにも繋がる都道府県リーグにおいて、「人数を揃えられない」というチームが在籍するというのはいかがでしょうか。もちろんその見極めは難しいと思いますが、我々は、地域の子どもたちや支援者に恥じぬよう、正々堂々と運営し、野口幸司監督のもと、選手とともに努力を重ねてきました。しかし、このような事態があつては、サポーターや支援者からも応援してもらうのが難しくなります。

そもそも、我々がもっと今までに点を取ってれば、すべての試合に勝ってればという批判があることは承知しています。しかし、不戦敗によって決着がつくリーグで本当に良いのでしょうか？今のままでは今後も同じことが起こる恐れがあります。戦わずして目の前の優勝を逃し、リーグを締めくくることは、これまで必死に戦ってきた選手たちにとってあまりにも残酷です。ここまで盛り上げて下さったサポーターや支援者、市民の皆さんにも説明がつかいません。

この声明を見てくださった皆さまには、是非、日本サッカー界発展のため都道府県リーグにも着目して頂き、連盟の判断のもと、さらにリーグが良くなることを切に願います。

我々は、「八王子から J リーグへ」という夢を決して諦めません。どんな困難があつても八王子を愛する皆さんとともに、地元の子どもたちを育て、J リーグ参入を果たし、八王子を盛り上げます。